

研究名：

病歴の構造化とアルゴリズム開発基盤の構築によって

小児救急外来の受診必要性を予測する人工知能研究

1. 研究の目的

小児救急外来では、夜間や休日に多くの患者さんが受診され、非常に混雑することがあります。そのため、本当に緊急の治療が必要な重症の患者さんの診察が遅れてしまうことや医療現場の逼迫、逆に受診の遅れが問題となっています。この研究では、過去に救急外来を受診された患者さんの病歴（症状の経過など）やバイタルサイン（体温や脈拍など）の情報を整理し、人工知能（AI）を用いて救急外来受診の必要性を予測するシステムを開発することを目的としています。これにより、適切な受診のタイミングを判断できるようにし、本当に治療が必要な子どもたちを早期に発見することを目指しています。

2. 研究の方法

① 研究対象：

当センターにて2023年1月1日～2025年12月31日までに感冒症状（咳、鼻水、のどの痛みなど）を主訴に救急外来を受診された生来健康な15歳以下の患者さん

（※手術歴、集中治療室入室歴、定期通院歴のある方は除きます）

② 研究期間：研究機関の長の実施許可日～2027年3月31日

③ 利用又は提供を開始する予定日：研究機関の長の実施許可日

④ 研究方法：

当センターの電子カルテやトリアージ記録から対象となる患者さんの診療情報を抽出し、分析を行います。収集したデータは、個人が特定できないように加工した上で、受診の必要性を判定するAIモデルの開発に使用します。本研究では、他の機関への情報の提供は行いません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴（症状、経過など）、バイタルサイン（体温、脈拍など）、患者属性（年齢、性別等）、検査データ（検体検査、画像検査など）、検査・処方・外来予約の有無、カルテ番号など

4. 個人情報の取り扱い

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名およびカルテ番号が含まれます。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの検体や情報は、個人情報をすべて削除し、どなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、個人情報を削除した検体や情報を結びつける資料は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で破棄します。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター 研究責任者 山田 夏彦

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、申出いただいた時点で研究結果が論文などで公表されていた場合等は、データが削除できないことがあります。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 教育研修センター 山田 夏彦

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7316）